



議会だより

かどがわ



町の鳥「カンムリウミスズメ」
(国指定天然記念物)

ビロウ島付近でのようす

(ビロウ島は、カンムリウミスズメの
世界一の繁殖地といわれています)



もくじ

補正予算	2
一般質問 7名(15問)	3
条例改正・意見書等	7

平成19年1月
NO. 109

12月定例議会 12月7日～13日

県知事選挙費用815万円等の一般会計・特別会計の補正を全会一致で可決

平成18年度12月補正後の予算額

	今回の補正	補正後の予算額
一般会計	5,143万円	56億2,484万円
国民保険	5,848万円	23億5,883万円
老人保健	0円	19億3,754万円
介護保険	88万円	12億9,731万円
草川区画整理	565万円	4,744万円
簡易水道	0円	1,067万円
水道事業	0円	3億9,994万円

諮問1件、同意1件、条例1件、補正予算5件、請願陳情3件、その他2件、議員提出条例、意見書の17件は、本会議において、提案理由の説明、質疑、討論の後、全会一致又は賛成多数で可決しました。

7名の議員が15問の質問を行いました。



海岸津波対策事業
(かさ上げされる中須の堤防)



住宅管理事業
(町が管理する公営住宅)

一般会計歳入 主なもの

- ・繰越金～1,794万円
(平成17年度決算による繰越金です)
- ・地方特例交付金～▲624万円
(この減額は、県からの交付金が当初の予定より少なくなったものであります)

一般会計歳出 主な事業

- ・海岸津波対策事業～150万円
(中須の堤防かさ上げ予算6,000万円が、1,500万円増額されたことにより、10%の150万円町負担が増したものです。事業費7,500万円)
- ・児童福祉費～▲1,366万円
(この減額は、児童数の減少によるものです)

加草地域放送設備補助250万円



総括意見

12月8日の一般質問では、7名の議員による15問、終日の論戦がくり広げられました。一般会計の補正は5、143万円、歳入では町債、2、360万円が主なものであります。

一般会計の主な事業

県議会議員選挙費276万円、老人福祉費299万円、障害者福祉事業329万円、塵芥処理費212万円、住宅管理事業費456万円、常備消防業務負担金960万円、幼稚園費119万円、小学校管理費160万円、保健体育費103万円、などが主なものでした。

11日議案の集中勉強

担当課長等から、一般会計、特別会計の説明を受ける中でも特別会計が毎年増加していることが注目されました。また、条例の改正に

ついては、『長期継続契約を締結することのできる契約を定める条例の制定について』は、継続契約をするにあたり債務負担行為をしながらもよいとする改正であることから質疑が相次ぎました。

『宮崎県後期高齢者医療広域連合の設立について』は、75歳以上の方の医療負担が増えることから、質疑が続出し、反対討論が行われるなど活発な論議がありました。現在の社会状況からやむを得ないとする議員が多数でありました。

13日の本会議において、全議案を可決しました。

回想

今回で勇退される議員が数名いらっしゃいますが、それぞれ思い出は尽きないようです。ある長老議員は、「議員生活40年を振り返る

と、町の予算が1億円足らずの時代から、所得倍増の経済発展に伴い年々予算が倍増したものだ。町も経済の発展や環境設備をすすめる一方で一次産業の衰退はとめられなかった。公共施設の新設や教育文化福祉の発展等、大きく変化した時代であり、いま思うと、平和なよき時代であったのかと思ふこの頃である。」と述べていました。

なお、平成17年度の交付金は20億円で数年前とくらべると4億少なくなっています。町の人件費は13億円で数年前より2億円削減している一方で町は国の事務を扱うことになってきているため職員も多忙になっています。私達議員も初心にかえって奮起する決意であります。

一般質問

7名の議員が登壇！



福祉の充実を

浜口 惇

町長 優先度を確認しながら
検討する

問

① 障害者自立支援法の設立以来、全国的に苦情が多いが障害者自立支援の為に利用者負担を下げてはどうか。
② 子供の医療費の助成を外来も就学前までにできないか。
③ 役場庁舎にエレベーターの設置を。

町長

① 本町の支援事業の利用者負担は障害者自立支援法の施行後も変わっていない。今後も状況をみながら支援策を検討する。
② 少子高齢化の中で、安心して子育てができるよう取り組みたいと考えている。

乳幼児医療制度につ



いては、予算編成で、優先度を見て進める。

③ エレベーターの設置はニーズが高まっていると認識している。建物の構造、経費など、早急に検討するよう関係課に指示している。

市町村合併をどのように考えているのか

安田 新

町長：合併論議の機運を高める



問

合併新法で法定協議会を設置している所がある。本町はどうするのか。

町長

合併に関する情報を住民に提供し合併論議の機運を高める事が一番重要である。

問

資源ごみのリサイクル率の低下やごみ量の増加が心配だが対策はあるのか。

町長

ごみ量も減り、リサイクル率も改善されている。更に努力していく。

問

町営住宅の今の公募入居制度には問題がある。空き家発生の時点での入居制度の方が効率的ではないのか。

町長

入居希望者に配慮し効率的に運用していく観点から、五戸以上の空き家ができた時に公募する。

問

町民と一体となった行政運営や事業拡大の観点から町民債の創設は出来ないのか。

町長

地方債は今年度より従来の許可制から協議制に移行された。本町財政運営上は現在の地方債で十分対応可能であると考えている。



遠見半島観光開発とウォーキングコースの新設を

黒木 義秋

町長：早期整備を要望していく



遠見山の展望台への入り口

問

県道遠見半島線の未改良区間の早期整備、心の杜から谷の山への環状道路に標識の設置、並びにウォーキングコースを新設できないか。

町長

新設する場合、歩道のない道も多く、交通安全上の問題や高低差距離などの諸々の問題を総合的に考えながら検討していく必要がある。

問

五十鈴川の防災対策として河川敷の杉等を伐採し水はけをよくする考えはないか。

町長

河川敷のスギなどの伐採は本格的河川改修の一環として認識している。早期の水害対策が必要なことから今年9月に、地元区長、日向土木事務所などに視察してもらい、県に河川改修の整備を強く要望したところだ。

バイオマスタウン構想の推進



安田 修

町長：検討委員会を立ち上げ推進する

問

本町の循環型社会の構築と、バイオマス利活用による安全・安心な農畜産物の生産を旨とする事等から、その構想が国から認定を受け、これが、これからの推進と利活用に向けた事業化をどう考えるか。

町長

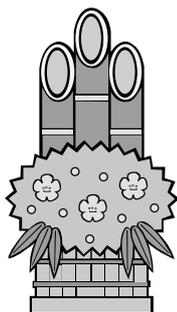
今後は基本計画、実施計画へと具体化していく。事業導入に向けては関係機関、民間の力、学識経験者、町民代表による検討委員会を立ち上げ、十分な協議を進めながら事業を推進していく。

問

今、公共工事の入札制度や、契約適正化等が注目を受けているが、本町における入札制度の仕組みと、本年度の発注工事の落札率、又予定価格の公表はどうなっているのか。

町長

130万円以上については、指名審査会で指名業者を決定し、指名競争入札を行なっている。今年度の発注工事は、百三十万円以上の工事は22件の入札を行い、全体の落札率は94・9%である。入札、契約に関する情報



は指名業者の決定と契約の締結の後、公表しているが、予定価格の公表はしていない。

市町村合併に対する考え方



黒木 裕

町長 .. 情報を提供し、
議論を高める

問

合併の方向性について、枠組みや期日、方法などを織り交ぜた具体的な考えを。

町長

道州制の議論の高まりとともに違った組合せ・枠組みも考えるべき時にきていると考え。新合併特例法の平成22年という期限があつても、今はまだ期限や合併の方法にしばらく議論の段階ではないと考える。今は合併問題に関する情報を町民に提供しながらもつともつと議論を高めていく時期であるし、そうする必要があると考えている。

「いじめ」問題

問

①「いじめ」の状況把握

②教育現場とのコミュニケーション

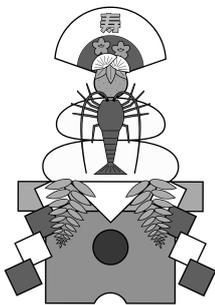
③今後の対応

教育長

①各学校でいじめ・不登校対策委員会を開催し、教育相談を開設している。

②健全な学校運営のため、早期発見、早期治療、報告・連絡・相談を合言葉になお一層、現場と教育委員会が緊密な関係を保つ。

③「いじめ」のない学校づくりのため、命を大切に教育、「いじめ」は絶対に許されない行為であるなどの



指導を徹底する。そして、全職員が一人一人の児童・生徒に心から愛情を注ぎ、常に子どもと目の線で指導を展開し、子どもの立場に立った「いじめ」のない学校づくりを指導していく。

大迫・船越地区の環境整備

水永 正継

町長：県や関係機関に強力に働きかける



問

大迫・船越地区の「サテライト宮崎」進出予定の交差点付近は、朝のラッシュ時に交通量が大変多く、交通事故が心配されるが、「サテライト宮崎」に頼らないで、道路等の環境整備はできないか。

町長

一民間企業の「サテライト宮崎」に道路問題等の抜本的解決はできない。信号機の設置、県道の拡幅、丸バエ川の排水対策等は、町が県や関係機関に強力に働きかけ、整備に努めていく。本年度は、町道船越々秋の内線の舗装の補修を行う。来年度に米田団地内の排水路整備を計画している。

問

地区内の道路や集落と集落を結ぶ道路に夜間暗い所があるが、もつと防犯灯の設置はできないか。

町長

平成8年度から進めてきた事業だが、今年度の牧山地区、城ヶ丘地区の設置で整備を終える。しかし、暗い箇所があれば、現地調査を行い、追加設置の検討をしていく。防犯灯があつても明るさの足りない電球については、蛍光灯への交換を早急に行う。地区内の防犯灯については、区からの要望により設置の補助を積極的に行っていく。

問

南ヶ丘地区と日向市榎木を結ぶ道路の新設はできないか。

町長

朝のラッシュ時の混雑を考えると、この路線は必要な道路であると認識している。この道路の計画については過去に日向市と協議してきた経緯があるが、今後、温度差のある日向市と粘り強く協議していきたい。門川町議会からも日向市の方へ働きかけをお願いしたい。



学校のいじめ対策は万全か

平田 真文

教育長：町や学校組織で迅速対処をしている

問

これまでや、現在発生しているいじめと思われる問題の把握件数とその対処方法は。また、いじめと思われる問題に対する今後の対策や町独自マニュアル作りなどの検討はないのか。

町長

平成14年5月に1件仲良しグループ間のトラブルで報告がありま
す。更にいやがらせと思われる報告が昨年11月から本年10月までに4件報告されていま
す。対処方法として
は、嫌がらせを行った児童生徒や保護者に指
導したほか、嫌がらせを受けた児童生徒の保
護者には、校長が自宅訪問を行い、謝罪して
います。

町のいじめ、非行、虐待、不登校等の問題に対処するため、学校、PTA、区長会、教育事務所、児童相談所、福祉事務所、民生

児童委員、警察など、15関係団体で構成する町独自のサポートチーム「アームインアーム門川」を組織し、その充実を図っています。また、各学校では、いじめ、不登校対策委員会「ハートフル委員会」を定例で開き、いじめの実態とその対応に取り組んでいます。が、学校での解決が困難な事例が発生した場合には「アームインアーム門川」で組織する関係機関、団体で、早急に実務者会議や個別ケース検討会を開き、早期解決を図ることにしております。

条例の改正

平成19年3月から議員定数が14名となったことにより議会の委員会構成の定数も変わります。

・総務財政常任委員会 5人

・文教厚生常任委員会 5人

・産業建設常任委員会 4人

意見書

●公共工事における建設労働者の適切な労働条件の確保等に関する意見書
(全会一致・原案可決)

●「最低保障年金制度」の創設を求める意見書
(全会一致・原案可決)

●JR九州に係る支援策等に関する意見書
(全会一致・原案可決)

請願

●公契約法制定など公共工事における建設労働者の適切な労働条件の確保についての請願
(全会一致・採択)

人権擁護委員と教育長が新しく替わりま
す。

人権擁護委員

道前和子 氏

(旭町在住)

陳情

●「最低保障年金制度」の創設を求める陳情
(全会一致・採択)

教育長

斉藤義輝 氏

(東栄町在住)

議会を傍聴しませんか？

傍聴はどなたでもできます。

次回の議会は3月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お問い合わせは議会事務局まで
TEL63-11140
(内線271)



ぎがいフラッシュ



創立100周年を迎える草川小学校



九州大会出場の町内ソフトボールチーム



愛宕山から見た日の出



クリーンアップ宮崎（海浜公園）



黒木 裕

小林 芳彦

米良 昭平

内山田 善信

またたく間に正月が過ぎ、選挙の多い今年に向けて心新たなる抱負をお持ちの方が多いのではないでしょうか。
 議会だよりも、現在の委員で編集する最後の号となりました。つたない編集であったかと思いますが、読んでくださった皆様へ感謝し、今後とも議会だよりにより暖かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

編集後記



謹んで

新春のお慶びを

申し上げます

門川町議会

